

科 目	通信工学II (Telecommunication Engineering II)		
担当教員	芝田 道 非常勤講師		
対象学年等	電気工学科・5年・後期・選択・2単位(学修単位II)		
学習・教育目標	A4-E3(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	ローカルエリアネットワークの構築、管理、運営に必要な基本技術について、TCP/IPプロトコルを中心に解説する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-E3】TCP/IP通信に関する基礎用語の説明ができる。		TCP/IP通信に関する基礎用語の説明ができるか中間試験で60%以上正解を合格として評価する。
2	【A4-E3】TCP/IP通信のしくみが説明できる。		LANにおけるデータ伝送のしくみについてのレポートを電子メールで提出させて60%以上正解を合格として評価する。
3	【A4-E3】2進数、16進数、10進数の変換ができる。		2進数、16進数、10進数の変換ができるか定期試験で60%以上正解を合格として評価する。
4	【A4-E3】IPアドレスのクラス分けとサブネットの作成ができる。		IPアドレスのクラス分けとサブネットの作成ができるか定期試験で60%以上正解を合格として評価する。
5	【A4-E3】ルータの役割について説明ができる。		ルータの役割について説明ができるか定期試験で60%以上正解を合格として評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験80%，レポート20%として評価する。成績は、試験80% レポート20% として評価する。到達目標1, 2, 3, 4, 5の試験80%，到達目標1, 2, 3, 4, 5のレポート20%で評価する。なお、試験成績は、中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「無線工学」：（電気通信振興会） WEBテキスト プリント		
参考書	「IP-VPNのしくみ」：芝田道著（日本実業出版社） 「図解でわかるLANのすべて」：小泉修著（日本実業出版社）		
関連科目	電子回路I, 電子回路II		
履修上の注意事項	通信工学を学習するにあたり、数学、物理、電気磁気学をはじめその他多くの専門基礎の理解が必要です。また、通信工学と発展的につながる教科として電子回路I, 電子回路IIなどを履修しておくことが望ましい。		

授業計画 1 (通信工学II)